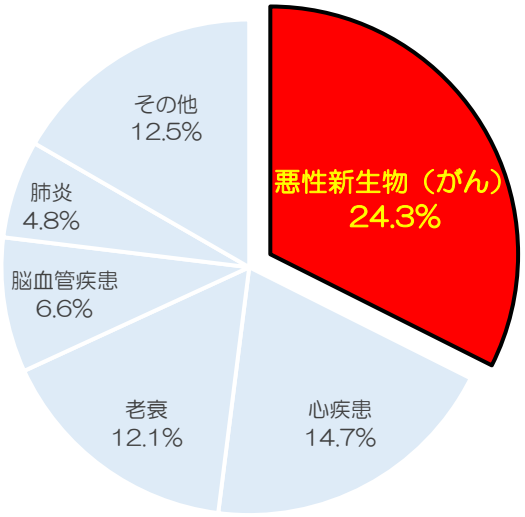
Vol. 60　受けてみよう！国がおすすめする5大がん検診

作成：診療放射線技師チーム

がんは日本人の死因第１位
２人に１人ががんになり　４人に１人が亡くなっています

現在の日本でがんで亡くなる方は、年間で**約38万人**にのぼります。また、高齢人口の増加に伴って今後も増え続けると考えられています。

がんによる死亡を防ぐには、**早期発見・早期治療**が重要です。自覚症状がないうちから**定期的にがん検診を受ける**ことは、がんの予防や早期発見の近道です。



厚生労働省「令和5年人口動態統計（各定数）」（2024）より当社作成

✿国が勧める5つのがん検診✿

	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
検査項目	胸部X線検査	胃X線検査 or 胃内視鏡検査	便潜血検査	乳房X線検査（マンモグラフィ）	視診・内診 子宮頸部の細胞診
受診間隔	年1回	2年1回 ※胃X線検査は年１回実施可能	年1回	2年1回	2年1回
対象	40歳以上	50歳以上 ※胃X線検査は40歳以上に対し実施可能	40歳以上	40歳以上	20歳以上

※問診は全検診で実施

国立がん研究センター「がん検診について」2025年8月29日に利用 当社作成

定期的に受けることで発見の確率が高まります。
1回で安心せず、繰り返しがん検診を受けましょう！



当センターでは各種がん検診、その他オプション検査に対応しております
健診の際はお気軽にご相談ください